

高齢者向け居住施設は？

【質問】共に七十歳の定年退職者の夫婦です。今のところ、身の回りのことは自分たちで不自由なくできていますが、余生を考えると元気なうちに施設に入居したいと思っています。施設の種類やサービス、費用について教えてください。

(老夫婦)

ケアハウスなど選択肢広がる

【答え】元気なうちに入居し、将来介護も受けられる住まいは、これまでは有料老人ホームしかありませんでしたが、現在高齢者向けの住まいが充実しつつあり、自立した高齢者にとって住まいの選択肢が広がっています。

スやグループリビング、高齢者向け優良賃貸住宅が増えています。ただし県内ではグループリビングや高齢者向け優良賃貸住宅は、ほとんど供給されていないのが現状のようです。

方式とサービスやハード面の質の違いにより、一般的に月額費用は十五万円前後で、入居一時金は数十万～数百万程度です。最近に入居一時金が数億円の豪華ホームも売り出されています。

食事、入浴などが提供され、一般的に月額費用は七万～十五万円程度で、入居時費用はゼロ円から数十万円程度です。グループリビングは高齢者の自立支援や生活支援などを目的としており、比較元的な高齢者が自発的に、考え方を共有する十人程度の仲間とともに一つ屋根の下で助け合って生活するという暮らし方です。特徴は、



サービスで費用に違い

食事や清掃、介護、医療などの各種地域サービスを自ら手配して共同生活をすることにあります。グループホームとの違いは、比較的健康な高齢者が主体で、専任の介護者が同居するとは限らないことです。月額費用は十万～二十万円程度で、入居時費用は数十万～数百万円程度です。

高齢者向け優良賃貸住宅は、バリアフリーや緊急時対応などの高齢者に配慮した設計の集合住宅のことで、一定基準を満たせば、国と自治体が建設費と家賃を補助します。食事や清掃など身の回りのことは自分でやるのが原則となっています。

(県医師会)